令和８年８月５日（水）子ども環境体験ツアー「音羽川水生生物調査団」

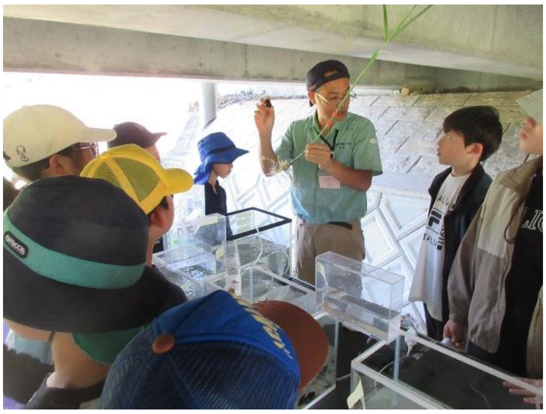
日　程

音羽支所（大会議室）　→　音羽川　「水生生物調査」→音羽支所（大会議室）

当日の様子

今回の子ども環境体験ツアーは小学生１２名が参加しました。

まず、はじめに音羽支所（大会議室）にて水生生物を調査するための事前学習を行いました。赤塚山公園の浅香先生から川についての知識や注意事項、川の生き物の捕まえ方などを教えてもらいました。



事前学習の後、音羽支所の近くの音羽川で生物調査を行いました。草の陰に隠れている魚や、石の裏側に付着している水生昆虫など、様々な生き物を見つけられました。

川から上がった後、浅香先生が調査で捕まえた生き物について教えてくれました。

午後からは大会議室へ戻り、捕まえた生き物のまとめをしました。きれいな水に生息する生物が多く確認できましたが、一方でアメリカザリガニやスクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）なども取れ、外来種の影響が心配される状況も分かりました。

つづいて赤塚山公園の杉浦先生から、音羽川をはじめ身の回りにはいろんな生き物がいること、生態系や生物多様性なしでは生活できないことを教わりました。

その後のワークショップでは、ほかの星へ移住するために宇宙船「箱舟」に乗せる生物を話し合うグループワークを行いました。様々なアクシデントを経た２か月後到着した星にて、生き残った生物で振る舞うことができる最初のディナーについて考えるゲームです。このゲームで生物どうしのつながりの大切さを学べたようです。

今回の子ども環境体験ツアーでは、生き物の命をつなぐために環境を守ることが必要不可欠であること、そのためにはまず自然を親しむ楽しさを知ることが大切だと学びました。

観察した主な生物

アメリカザリガニ、オイカワ、カワニナ、カワムツ、カワヨシノボリ、コオニヤンマのヤゴ、サワガニ、スクミリンゴガイ、ドンコ、ヒラタドロムシ、ヒゲナガカワトビケラ、モクズガニ　他

参加者の声（参加者アンケートより抜粋）

・いろんな生き物を１０匹くらい捕まえられた。
・いろいろな生き物が見られて、ゲームもやれて楽しかった。
・水の生き物や生態系について学べた。　・・・など